



いわき市立久之浜第二小学校 学校だより

「広い世界が開けてる」

平成31年2月5日(火)発行 第28号

文責 山田 弘

いわき市大久町大久字矢ノ目沢2番地の1

TEL 0246-82-3041 FAX 0246-82-3190

ホームページ <https://iwaki.fcs.ed.jp/久之浜第二小学校>

学校目標
考える子
なかよい子
がんばる子



2/13(水) PTA 役員会、学校評議員会

2/15(金) 久中校区小中連携推進会議

2/18(月) 長なわ記録会

【今年度の重点目標】

よく聞き、考え、めあてに
向かってチャレンジしよう

いわき伝統野菜フォーラム2019参加の様子が新聞に掲載されました

2/1(金)に内郷にあるクレールコートで開催された「いわき伝統野菜フォーラム 2019」での発表の記事が福島民友新聞と福島民報新聞に掲載されました。
↓ 2/3(日)福島民報新聞 ↓ 2/2(土)福島民友新聞



ジュウネンの栽培を通して得た学びを発表する久之浜二小の児童(右)

細道市に昔から伝わる「伝統野菜」をテーマにしたフォーラムが1日、同市で開かれた。

▽：伝統野菜は各地域で世代を超えて栽培者が自家採種などを行い、現代まで受け継がれている野菜。同市の子どもたちが、伝統野菜の栽培、収穫などを通して学んだことを発表した。

▽：久之浜二小の子どもたちは、エゴマの一種「大久じゅうねん」について事例報告し写真、ジュウネンの栄養価や、エゴマからつくった「飲む油」の効能などを説明し「食べて長生きしてください」と伝統野菜を使った現代病予防を勧めていた。

伝統野菜の魅力は

いわきでフォーラム

児童が学び発表

いわき伝統野菜フォーラム2019は1日、いわき市内郷のクレールコートで開かれた。地域資源としてのいわき伝統野菜の継承と普及拡大を目的に開催している。

長崎県雲仙市で、五十種類以上の在来種を育っている岩崎政利さんが「風土」と題して講演した。岩崎さんは伝統野菜の特徴や農業者としての思いを語り、学校給食共同調理場「多様性を生かすことが種を守ることにつながる」と説いた。

引き続き事例発表に三和小の児童が、それぞれジュウネンやムスネを継ぐ」と題して講演し、調理を通して得た学びを発表した。三和善技師の古川千夏さんが「食育活動などについて発表した。」

豆まき集会を行いました



立春の2/4(月)に一日遅い豆まきを行いました。豆まきに先立って集会を行い、節分にちなんだ紙芝居や各自の追い出したい鬼の発表を行いました。その後、5年生が豆まきを行いました。他の児童は5年生がまいた豆を拾いました。みなたくさんひろっていました。

2/3(日)地区の青少年育成意見発表会で6年生が発表しました

青少年育成意見発表会

